（大正十年十二月二十日 第三種郵便物認可）

夕刊 磐城新聞

一月六日發行

（日曜祭日翌日休刊）

東京振替一〇八・五五六番

新春と共に

佐藤清長

事變を契機として、文學の轉換は街ゝ家に突發的な角度をもつて浸潤して來た。例へば花鳥風月を持つて詠まれて居つた短歌の形体が破壊され？、侘び、寂び、云ふ從來の短歌の本質的な『格』が末梢神經でしかなくなつた感のするのはどうした事か。勿論このことを强調するのではない。併し事變に依つて新しく拓かれた强い力は、新しさの奇としのみとり上げることの出來ない確乎不拔の意志がみなぎつて居る。そこに淸れるものは、ドヨン段丘の砂金の比ではなく、日本民族のかくされて居た新しい息吹だ。無限の表現だ。

安藝齋秋十一月を見て、そこに披殺されてある、日本短歌十月號の、夫を戰地へ送つた妻の歌が、岡山先生の紹介に依つて掀つて居る。便宜上その一人を拔いて左に掲げよう。

待つとゆう一言さへやはらからる大き別れなりゆきませ吾が夫　吉川とき子

ひしと抱きてわれをあはれむみ心のしみてぞかなし早や曉となる　同

是の自覺、是の精神、叙されて餘りあるものを感ずるではないか。出征と云ふ生死の岐路にのぞまされ、なほしかし、大きく別れなりと。こゝに銃後奉公の水もらさぬ觀點をみせ、銃後女性の積極化された姿として、何物にも換へがたき、國への、天への、ほのぼのとした手向けではあるまいか。

ひるがへつて磐城の歌壇をみよう。何をか言ひ得ることがあつたらうか。想へば昭和十四年の磐城の文藝の枯れ枯れの野であつた。小山田、新妻兩先生の玉什らになく、畏兄、松村淸獣して出す、後輩の失望何をか言はむ、唯々磐城歌壇の何處へ行くと、在り日の誌『野麥』を抱き泣くばかりか。

不意に來てわが肩たゝく人の指先をこぼるゝつゆとやしはむ　田部君子

わか若く子をなしにける涙にも嚙むによなしきものと知りぬる　田中賢介

と兩氏の健康を祝し、野本氏の返り咲を願ひ

千人の大和をみなのまゝをこめてぞ結ぶ我も一針　五十嵐絹江

事變を詠まれた歌として磐城の歌人を數よる時、五十嵐氏を眞つ先にあげねばなるまい。戰地將士への思ひやり、即ち私が言はむとする、銃後國民の盡す一つの熱範であらう。

とまれ磐城新聞を中心として紀元二千六百年の新春と共に、文藝奉公の何物をかと想を煉る心算だつたが結局まとまりのつかぬことを歎いてしまつた

紀元二千六百年を祝して

門ごとに仰ぎゆたけき日の丸は君の御稜威と壽きまつる

1月7日 —— △始めて大臣を置き武内宿禰を任す(成務帝三)△始めて七種粥を献す(寛平二)△國民職業能力申告令公布(昭和一三)

1月8日 —— △日蓮上人塚原問答(文永九)△徴兵式の始(明治五)△小學卒の學齡を滿六才とす(明治八)

[illegible]

○

成功の秘訣を知る必要はない。なすべき一々の瑣事に全力を傾注することが彼を成功に導くだらう　ワナメーカー

講談

振袖横町（ふりそでよこちやう）

（111）浪人召抱へ（九）

須藤鐵一

荻原萬象畫

顔み難きは我が心——。事あれば忽ちに移り、事なきもまた動かんとす——生じ易きは魔の緣なり、おもひをほしいまゝにすれば直に發り、おもひを正しうするも角起らんとする。此の故に心は大海の波と搖ぎて定まる時なし——。

金吾は、長食の言葉や、又自分の考へをまとめながら、見やせん角やせんと物思ひに沈みながら步き廻つてゐた。

本郷春木町の樹谷の道場を拔け出した金吾は、何時の間にか、上野山下の盛り場のほとりを步いてゐた。

足は自然と吉原の方に向いてゐた。

『今一度の逢瀨！それできつぱりと締めよう——。』

遂に金吾は音羽のみを思ひ切ることが出來なくなつた。

行かうと思ふと、一刻も時がおしまれてきた。

『駕屋！』

辻駕を目附けて、から聲を掛ける——。

『へーい』

『やつて來れ！』

『どちらへ……』

『吉原まで……』

『合點！おい合棒なかだ』

『よし來た！』

『日那！參りやした。だがね、そのお姿ぢやいけませんよ、餘り野暮ですぜ！こゝは土手の編笠茶屋、こゝで姿を直してお出でなさい——』

廓內の引手茶屋は、揚錢の立替何やかや遊客に重寶なる事あれど此處にては其なく唯送り込むのみなれば萬事に不自由な身上に福利かずとて行かぬよも多けれど金吾は何をさまでに華美にする要なし、この家の一軒より送られて玉屋へと行つた。

『たつた一度の逢瀨！』

その決心で行つた彼は、逢へば逢ふほど諦め切れなくなる。

さとの金にはつまるならひ。

御家人を父に持ち、町道場の師範代の身分で大まかさの玉屋の音羽を買ひ通せる譯はなかつた。

『本郷もかねやすまでは江戸の中——。』

そのかねやすの先、前田侯の正門前あたりの夜は更けて、その邊り一帶の大名屋敷に燈火一つまばたいてゐず、遠くで吠ゆる犬の聲や、手近に鳴らす拍子木の音が夜の深さを思はせる頃急ぎの用の旅人どもあらう小田原提灯で道を照らし、二人連れてスタ〳〵と日光街道の方へと步いて行つたと、喜福寺の木陰から人影が出た。

無放の禁流しに、お誂へ通りの覆面頭巾、何か考へごとでもしてゐるのか、俯向き加減に肩を落しシトシトと此方へ步いて來た。

と、双方行違はうとした不意に武士は顏を上げたついて右手が刀の柄へ——ピカリと光つたのは拔いたのであらう。

『キャッ』

といふ悲鳴『ワッ』と叫ぶ聲

つゞいて再び『キャッ』といふ悲鳴。

——地に轉がつた提灯がポッと燃え上つて明るい中に、倒れてゐるのは、二つの死骸。

斬手の武士は數間の彼方を別のやうに步いてゐた。

切通坂下、そこで斬り倒された大店の主人がゐた。

淺草淸島町、ある夜更け法事歸りの住職と、供の僧が斬られてゐた。斬手の腕は冴えてゐる。財布を皆拔いてあるのは物盜りらしい

天氣豫報
小名濱測候所觀測
今晩　西の風晴一時曇
明日　南の風晴

廣告

磐城名物
靈峰羊羹（りやうほうやうかん）
小川郷驛前
平屋賣店

田毎の
志るこ
ぞうに
電話六三二番

吸入用酸素 純度99%
度量衡
モノサシ
マス
ハカリ
計量器
体温器
寒暖計
秤ノ取扱
垂糸。修繕シマス。
關內藥局
電話四〇番

お醬油は……ヤマフル
味噌 醬油
たひら正宗
鰹節 食品料
壜屋
山崎合名會社
福島縣平市
電話（營業部一〇番）（本店二七番）
明治生命磐城代理店 山崎與三郎

◇住宅地分讓◇

都心に近き保健境
平第三小學校東北方約二萬坪

金より物の時代
「安全の土地」

支那事變前では、投資家の投資物は種々雜多で、その向き向きに依つて、投資せられたものでありますが、事變の進行と共に各方面に於ける統制の强化は、全く自由に各方面への投資が抑制せらるゝこととなりました。その間に在つて殘された安全堅實にして、而かも至極有利なる投資としては、先づ第一に土地を擧げねばなりません。殊に最近に於ける跛行的景氣に依るインフレ傾向は、全國的土地投資額熱が第一位と云つても過言ではないのであります。蓋し經濟界に於ける統制は、物價の抑制を招來してゐますが、獨り土地の價格には統制がなく、而かも遊資家の放出先に困つた投資が、期せずして土地に向つて來るのは、當然の歸結とも云ふべきであり、更に一面に於いて、事變終結に想を致すとき戰勝インフレの幕が切つて落さるゝこととなれば、産業界の殷盛と共に土地價の昂騰は期して待つべきものでありと存ぜられます從つて古來土地に投資した者には、殆んど全部が數十割の利益こそ見れ、決して損失はないと云はれてゐるのも、宜なる哉と思はれるのであります。

、大小各口の御相談に應ず
御希望の方は市内田町一九蓮沼方（電話七八七番）へ御問合せ下さい

耳鼻咽喉科專門
醫學士 鈴木正男
平市田町（電話五八番）藤田女學校前
『入院のお需めに應ず』
（看護婦及び見習看護婦募集）
齒科口腔外科
日本齒科醫學士 鈴木喜政
內郷村高坂磐炭病院前
鈴木醫院

◇和文歐文タイプライター
◇最新事務用品類
◇文房具一式
◇製圖並に測量用品
◇謄寫版並に附屬品
平市田町銀座街
東邦タイプライター代理店
東邦タイピスト養成所
藤森
電話三七〇
振替仙臺一五一〇
〔藤森事務用器商會〕

夕刊配達 一名
尋常六年以上のもの
市內居住者に限る
希望者來談あれ（本社）

純綿利用加工時代！
染め物は
質實と技術の優秀を誇る
迅速 叮嚀
吉田屋染工場
平市五丁目
電話五五八番

平みやげ
磐城平の名所地が
一目でわかる
・米屋の名物最中
風味自まんの米屋の最中
平驛前通り
米屋最中
專門店

皮膚科
泌尿器科
性病科
專門
診察時間 午前八時ヨリ午後九時マデ
平市田町
江尻醫院
醫學博士 江尻伊三郎
電話六九一
入院隨意

稲荷丸 皇漢オルモン藥
キキメ
◇腹痛……
◇胃痙攣……
◇小兒の諸病……
◇心臟病……
◇自動車醉……
◇肺炎……
には三粒デキキマス ムナサキ痛みには奇妙ニキヽマス
一日三回のませて見れば靈妙な作用で健康体となる
少しの運動にもイキ切れドウキの高い方御實驗下さい
ニハ乘車前十分位ニ三粒服用セバヨイマセン
一粒腹中に入れば心臟を强め精力活力を增加す
定價
四十五粒—五十錢
百二十五粒—壹圓
二百七拾粒 貳圓五十錢
五百五拾粒 五圓
本舗 イナリ丸 金子製藥所
茨城縣笠間町（稲荷神社前）
—代理店—
平市古鍛冶町一〇（縣社下）
阿康藥局
（有名藥局にあり）
電話四十四番
振替東京三〇〇六五番

金魚が泳げる薄い酒
品不足で左黨の春憂鬱

あゝらの樣な酒飲んで！とは古來お正月に對する享樂的酩酊譜であつたが、近來の酒不足は、そうした酒精分の濃度を望めぬ等云ふ迄もなく、今や酒に水を割る常套手段が、水に酒を割るの逆轉を示したとかで、その薄さ加減に至つては、話に相當の誇張があるにしても「金魚を泳がせたら、一段の鮮紅を帶びて三日生きてゐた」など漫才擬きの笑ひ話すら飛んで居る程で、新春の街頭に蹣跚の千鳥足が全然その姿を見せぬのは緊張等もせぬ時局の反映たるは云ふ迄も無いが、一面こうした水つぽい美祿のさせる業でないかと云ふのも實際一つの見かたであらうと、利き目の薄さを喞つ地方大小左黨の今正月に於ける酒通懷である

無い筈がない
開店休業を警戒の戰術？
消息通の酒倉透視

市、郡下三十六軒の十四酒造年度に於ける造石高約一萬四千石で今十五酒造年度に於てこそ急轉一萬二千石足らずと激減こそすれ、差當り以前に較べて、これ程拂底する筈がない。と年來の得意顧客を弊履の如く顧みざらんとする昨今の賣り惜しみに恐大ナ平かならぬ地方愛酒家の觀測であるが前後の情勢から觀て地方の清酒界も今日以後の品不足に備へ、今後持ち品の種切れから所謂閉店休業の事態を暴露多願以來相繼いだ創業何代の傳統を傷くるが如き事無し樣極力擬出しの販賣に大事をとる結果と觀るが至當らしく彼此世間の酒不足は今の處各方面で想像して居る程に行き詰つて居まいと云つてる向を可なり見受けられる

石城神職會
事業計劃協議

福島縣神職會石城郡支部の總會は今六日午前九時から市內紺屋町扇屋に於て開催今年度及び皇紀二千六百年の事業計劃に就て協議した

慰問袋寄託

平第二小學校五ノ三阿部美子、塙和子さんの二人で、また大町八木ミヨ子さんは慰問袋各一個を作製、市役所へ寄託

銃後奉公會 寄附一束

新春早々市銃後奉公會への寄附は市內大町磐城無盡會社會長小宅嘉久治氏の百圓の外月見町納稅組合で新年會を廢止し金十圓を久國太平氏が代表で、また「一市民」として第五回目金一圓とこれも匿名で金十圓

汗の國防獻金
鳥居礦長以下全山從業員
廢品回收代ご茶菓料提供

赤井村日曹妙高企業常盤炭礦では昨秋制定以來興亞奉公日毎に鳥居礦長以下全從業員が出動、全山に亘つて資源愛護の廢品回收を行ひ之に因つて得た現金に之亦昨年中前後二回の赤井嶽登山道路改修工事に勤勞奉仕の際會社より受けた茶菓代若干を加へ合計百二十一圓七十錢を國防獻金することゝなり、今六日代表渡邊順氏が來訪、本社を經て、鳥居礦長以下職員從業員一同の名で市役所に寄託した

金賣却四百圓獻金
川部村中山氏の赤誠

川部村土木請負業中山組頭中山吉之助氏は金献運動に呼應し時計、指輪、鎖、帶留等一家六名の所持品合計二十餘點を植田町磐東銀行を通じ賣却した四百六十一圓二十二錢をそつくり二千六百年記念の國防費として植田署に寄託、その赤誠の程を賞されてゐる

○○○○○
產馬組合長協會　石城產馬畜產組合では六日平市國體事務所に區長會を開き二才駒セリ賣期日繰り上げ其他今年中の事業について協議した

『運勢判斷』あなたの今年

(下)

◎六白金星
起伏あり、變化あり、喜悲交々到る今年です、それだけにあなたの運勢をあなたの力で吉凶いづれにも轉換し得る譯です、自分の運命を自分で開拓する決心で邪心を去り、急がず焦らず誠實以て事に當り、一身一家を治める自戒自肅が肝要です、國家非常の秋、あなたの一身も非常時だと心得なさい。

◎七赤金星
幸運の年です、眞面目に出精すれば、望みは總て成就します、若し今年あなたが幸運でなければ、それはあなた自身が、幸運を嫉つてノックアウトしてゐるのです。至誠、堅實、精勵、無慾であれば、あなたの一身にどんな不測の災厄がふりかゝらうとしても、旺盛、決して惡魔に取付かれる虞はありません。

◎八白土星
思ふこと成らざるなき盛運の年です、今年こそあなたは思ひ切つて事業を擴張し、希望を實現しなさい。屹と好結果を得られます。だが然し、慢心、油斷の生じ易い爲に折角の盛運を自分で追ひ返す虞がある。盛んなれば滅ぶといふ諺を心に刻んで決して今年の運氣を取逃してはなりません。

◎九紫火星
まだ～運氣が開けない、十を欲すれば九に控へ、總て用心堅固に自戒するが肝要、着實に努力すれば運氣を開いて次第に目的達成の曙光を認めることが出來る、自ら禍を招くが如きことなく、他まで愼重に誠意事に當り他日に成功を期して、今年は基礎を固めるつもりで努力しなさい。

稅金は樂に完納
懷ろが春風駘蕩
二三兩月連續の受難解消

假令前金を堆高く積んで見せても、いかな嘗つて見れぬ迄に今や未曾有の造り酒屋强力時代下に置かれある平稅務署管內の酒造家は年額八十萬圓の巨額なるに拘らず、年四回の頻繁な納期にも之が調達に些の懸念なく、而も昨年十月の第二期以來蓄積した各營業者の財力は從來一年中の最大受難期とされた來月き來月と續く第三期第四期分をも何ら痛痒を欠く樣な向が無く、當局の赤信號に殆ど患値或はそれ以下と泣く～捨て賣りも辭せなかつた程血みどろな稅金調達の苦勞も今は昔の語り草となつた

滿洲現地開拓視察報告
福島縣代表　志賀ナカ

〔十一〕

牡丹江

久し振りで見る都市の面影然たる近代建築物は、遺憾なく新興都市の形態を備へ目に映るもの皆珍しく、數年前くも八萬の人口を擁する本市に、圖佳線濱綏線が交叉する、交通上の要衝で櫛の齒を挽く樣な人の步み、車馬の疾走にも發展途上にある東滿の一大都市たることが頷かれる。八時、朝食を取らずに勇を皷して忠靈塔へ參拜、敬虔な禮拜を終へて自由行動に入るや何よりも先に食堂へ雪崩れ込み、朝、晝兼帶の食事に旺盛な非常時下の食慾を見せた。

座談會、午後四時から、滿鐵牡丹江鐵道局新沼勝三郎氏の斡旋で、牡丹江婦人會との座談會が開催された

開拓地と異り、都會地の花嫁に花が咲く。

都會地の花嫁も大いに歡迎すること、然し收入の多いのに併せて追々無駄な生活に入り易い。六十八圓の喜屑が平氣で賣れる、大根買ひに車で行く隣の人が百圓のものを買へば、私は百五十圓といふざる競爭に入る。良妻が銅像の礎をつくるといふが、もつと突き進んで家庭改善、じつと家庭內を見つめて貰ひたい。女(奧さん)に左右されて失敗する男性も少くない。最初の犧牲をくじかすに、內地で生活する愼しい氣持ちを忘れなかつたら、收入が內地の四倍にもなつてゐるのだから、普通の生活無理のない生活をしても、樂な生活が出來る、主人が宴會に出席すれば、負けずに外出をする遊ぶ不用のものを買ふ何と淺ましい姿でせう日本人は高いのに驚かずいくらでもお金を出す。一人で物價を騰げて居るやうなものだ……と～論じた結果、要するに婦人の修養如何に係つてゐることに落ちつく

午後九時の出發に八時に婦人會員、義勇軍など多數驛頭を埋め感激的な民歌、大陸行進曲の歌が約一時間に渡つた。

ハルビン

苦しい夜汽車で、午前八時ハルビン驛に下車、流石國際都市丈け驛前に集めく車馬の雜沓、街路樹、ロシア人の漫步、櫛比する建築物、日本文字の甲板も窓に深い日本街、ロシア街

滿人街

日本人の一人も居ない滿人街を深更步いて居る女があれば、それは普通人でないとのことである。名に憧れて、疲れた足を運んだ東洋ホテルの餘りの穢ならしさに朝食もそこ～に遊覽バスに分乘、先づハルビン神社へ詣づる。

軍人遺家族に木炭を贈る
栗原氏の篤行

平電力株式會社社長栗原欣次郎氏は昨今の木炭飢饉に惱む市內出征軍人遺家族達に昨五日椚丸一俵宛をお年玉として市內靑年團の手を經て贈り感謝されてゐる

けふ警防團訓練始め

平市警防團訓練始めは今六日午前七時から市內行進、縣社子鐵倉社頭に國威宣揚無火災を祈願後恒例の梯子乘りに市中をめぐり、午後一時から公會堂附近、平驛前で家庭防空群參加の防空訓練に新春早々市民の非常時意識を强調、二時から公會堂で訓練始め式を擧行左記永年勤續及び退職者を表彰した

◇永年勤續(廿五年以上)班長大野松之助(二十年以上)班長鈴木定一、團員藤田專吾(十五年以上)班長八木政吉、佐藤政惠、團員柳井金治、門馬源次郎、坂本信義(十年以上)副部長命成行綱　班長伊藤退之助、佐藤寬二、副班長高橋三郎、團員鴇源太郎、片寄虎二、荒井常信、石黑久雄、平田實、松崎忠平、松崎銀作、大和田保壽、下段一、明智忠作、木田一郎、鈴木正

◇退職者＝消防副組頭國田政次郎、消防小頭部長田中宣治、消防小頭根本直一、同松崎治良、消防伍長古山吉之助、同今田藤惠、同片寄正壽、同鴇木國一、同松崎政重、同相田英三郎、消防手鈴木隆、小野銀松、松崎貞治、吉田義久、大須賀雄一、松本信由

平市戶籍錄

▽出生　二丁目三四山崎賢助氏四女文子さん、八幡小路七六吾妻節氏長男幹久君、才槌小路二四石山晃男氏五男倫男君、田町七三佐藤一男氏長男信保君、中平窪字岩間四五川崎正夫氏二女幸子さん、南町五一水谷登氏六女トミ子さん、古鍛冶町三一岡井清氏四男直英君、彌官町七安齋利春氏長男正一君、南町七一石川武夫氏長女節子さん

○婚姻　岡山縣小田郡笠岡町笠岡三、〇一二三島田男氏(四二)四軒町四番野ヨシさん(三三)

▲死亡　禰宜町一二植松爲治氏(六八)、久保町二二沼田クニヨさん(四八)

各町內新年會
昨今盛んに開催

市內各町內の新年會は少額の會費で隣保交歡の好機會たる意味に於て每年夫々賑かに催されて來たが今春も昨今適當な會場を選み簡素な祝筵を張つて昨年中の庶務會計報告後盃酒歡談大に二千六百年の春を壽いでゐるが、今春は時局柄從來行はれ來つた新入卷或は出產家庭からの酒代寄附等は各自の任意と言ふのが相當あり、ここにも興亞の緊縮氣分を漂はせてゐる

勅題迎年新世　珠雲　小野務平

出日煌々歲尊新
慶雲靉靆鏡楓展
潔齋先祈遠征士
皇道賴君振九垓

七日　【小名濱測候所調】
滿潮　前三、五〇　後一、四〇
干潮　前八、二五　後九、二〇

八日
滿潮　前四、四〇　後二、三五
干潮　前九、二〇　後一〇、〇五

夜間診療
胃腸性病　專門
內科　胃腸病科　花柳病科　性病科　皮膚科
(見習看護婦募集)
松村胃腸性病科醫院
(平市南町　電一〇七番)

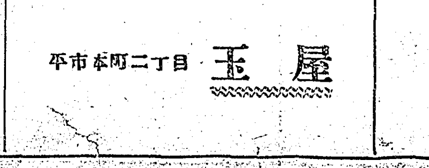
平市新川町
北川外科
電四六四

他店で御氣に召さぬ時に是非一度
——常磐線東京仙臺間であらゆるクリーニング機械設備の揃つてゐる……
純ドライクリーニング
西洋洗濯
平市田町　白榮舍ランドリー
正直なる仕事と優秀なる技術を望まるゝ方は
設備平市第一の
白榮舍ランドリー

『旨い』と一言(ひとこと)にして盡く
神戶牛
すき燒
相始め申候
日本料理　山茶荘(つばき)
電話五二〇番

銘木(床ノ間材)
天井板、ベニヤ板買ふなら
確かに御期待に添ふ良品廉價の
万　織田材木商店へ
磐城縣平市　研島
電話平四六〇番
營業科目
建築木材一式
銘木・ベニヤ板
秋田產杉四分板
建具材・便利瓦
一變せる勉强振りを、ぜひ一度お試しを乞ふ
◎小店員募集
年齡十五歲ヨリ廿歲迄

開院
內科、小兒科
醫學博士　正木信功
正木醫院
六丁目(五丁目交番際)
電話四三九番
入院隨意
看護婦至急募集

メガネ專門の店

メガネは絕對信用ある當店に先づ御相談下さい…………
平市本町二丁目　玉屋

一、タバコをヤメルのによくきく藥
▽確實に禁煙に成功の出來る
禁煙含嗽藥「ニコチロン」
一瓶一圓
を是非御試用を御勸め致します
漢方胃腸藥の
專賣所　山野邊藥局

眼科一般
眼鏡檢定
重田眼科
平・驛前通り　元貯蓄銀行跡
醫師　重田景治
平市田町一番地